



北稲門会報

第30号
早稲田大学

題字:第13代総長 小山宙丸先生

[編集・発行]早稲田大学校友会 北稲門会

[発行所]〒114-0002 東京都北区王子4-22-9 越野建設(株)内

北稲門会事務局 TEL.03-3913-4511 HP:<http://www.kita-toumonkai.com/>

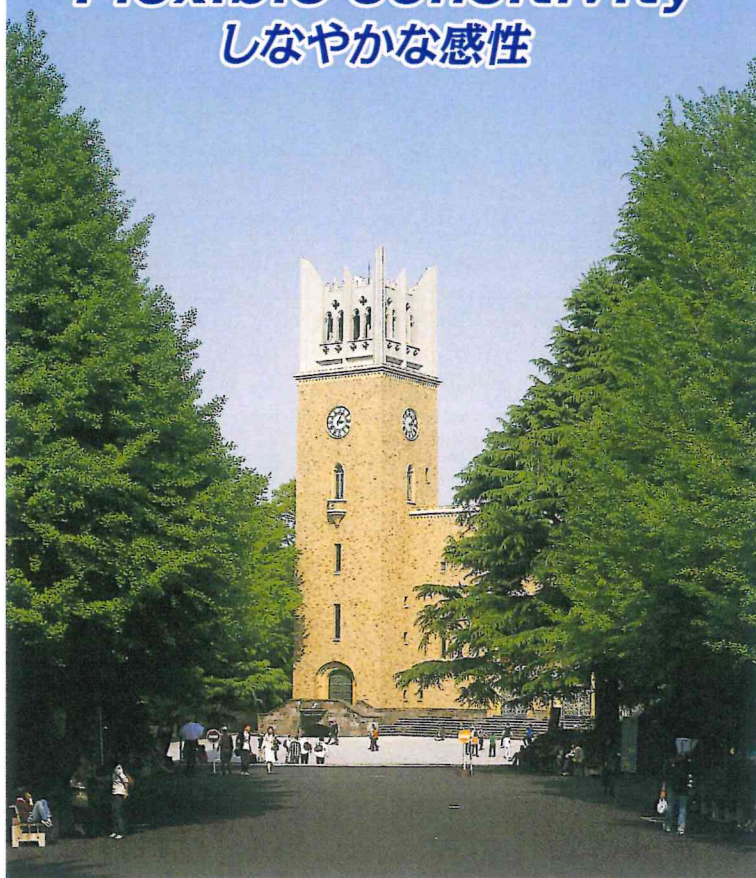
Two goals of Education at Waseda

Intellectual resilience

逞しい知性

Flexible sensitivity

しなやかな感性



早稲田大学提供

Be proud and confident and passionate!

誇りと自信と情熱を！

北稲門会設立30周年記念特集

ご挨拶



北稲門会会長

田内 秀昭

一年間の活動報告

北稲門会会員の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。昨年七月の総会開催以降の北稲門会活動を振り返りますと、コロナ禍の状況は基本的に変わらず継続しているとはいえ、多くの校友会活動または稲門会活動が活動の幅を拡げた一年間でした。

もちろん、政府方針並びに大学・校友会の指針に基づき、また会員の皆様の安心安全を第一に考えての行動であったことを申し添えます。母校早稲田大学でも多くの授業を対面形式に戻したことに伴い、学生が戻ってきておりキャンパスも活気に溢れていると聞いております。我が北稲門会も校友会、他地域の稲門会等との交流も含め活動を展開いたしました。参加及び出席した主な活動を紹介します。も次のような事業があげられます。(参加した行事すべては記しておりません。)

稲門祭(十月)、北稲門会第二十九回講演会(十一月)、北稲門会若手の会(十二月以後二ヶ月に一度のペースで開催)、東京都二十三区支部・三多摩支部合同会長会(十二月)、品川稲門会箱根駅伝応援会(一月)、明治大学校友会北地域支部「新年会」(一月)、北稲門会「新年会」(二月)、東京都二十三区支部大会(三月)、東京都二十三区支部総会(四月)、第二プロッ

ク各稲門会総会(五〜七月)、北区三田会総会(六月)、北稲門会総会(七月)、大曲花火大会見学・秋田稲門会と交流(八月)等々の交流事業がありました。(注・この原稿は九月上旬にまとめましたので、その後、北区民まつり(十月)、稲門祭(十月)、そして本日、十一月十一日は北稲門会三十周年記念講演会が開催されています。(本年はコロナ禍の中でも多くの事業が開催されましたので、特に記載しました。)

会長再任

本年七月の総会役員改選期にあたり、新役員を選出していただきました。(新役員名簿参照)その結果、私が再度会長に選出されました。身に余る光栄と存じております。同時に、最初に会長に選出された時に感じた「私でいいのか?」という不安は今も持ち続けております。私は北稲門会設立時からの会員でありましたが、二期目の会長就任に際して、歴代の会長・名取小一様、横峯忠様、飯野嘉一郎様ならびに前任の北雷次様に改めて感謝申し上げます。役員の方々および会員の皆様のご尽力を賜り、一期目の経験を生かし、微力ながら努力する所存ですので、何卒ご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

設立三十周年

本年は、北稲門会設立三十周年という節目の年を迎えました。誠に喜ばしいことでございます。「北稲門会報」(第二十号・二〇一三年七月三日刊)に「北稲門会は一九九四年四月二日(平成六年)北区出身の第十三代総長小山宙丸先生をお迎えして、一〇〇余名の参加者が集い、リーガロイヤルホテル早稲田で設立総会が盛大に催された」と記されています。この北稲門会を立ち上げ今日まで導いていた

だいた諸先輩に敬意と感謝の気持ちを表明いたします。三十年を一つの節目として、これまでの北稲門会の歴史に自負と誇りを持って、一歩一歩着実に新たな時代に向かって活動の幅を広げていければと考えております。(設立三十周年にしましては本会報でも特集を組むこんでいます。)

大学支援

本年の北稲門会総会に来賓としてご出席いただいた早稲田大学総務部長・東京二十三区地域担当部長の三浦暁様からお手紙をいただき、「早稲田カード」の入会促進の協力を求められました。会員の皆様もすでにご存じの通り「早稲田カード」は校友限定のクレジットカードです。最大の特徴は利用金額の〇・五%が利用者の負担無くカード会社から、大学に還元され、奨学金として在学生の就学を支援している点です。未加入の方は、是非早急に手続きを、すでにお持ちの方は更なる利用をお願いいたします。我々校友が負担なく奨学金の支援ができます。

校友会の資料によりますと、早稲田大学の同窓会組織である校友会支部・登録稲門会数は一三八九を数えるそうです(二〇二二年十一月現在)。我が北稲門会もそれらの一つですが、今後もこれまで以上に多くの校友会、稲門会、特に東京二十三区支部、東京三多摩支部ならびに近隣の第二プロック稲門会と連携・交流を深めて、明日の早稲田大学のために大学・校友会を支援し続けていきたいと考えています。

結びに、北稲門会会員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

早稲田大学校友会
北稲門会新役員
(二〇二三年七月現在)

会長	田内 秀昭	北区 赤羽西
副会長	石川 英夫	北区 赤羽南
々	志水 一夫	新宿区 二十騎町
々	近藤 宏	北区 滝野川
々	越野 充博	北区 王子
々	百武 秀男	北区 上中里
々	鄭 英模	北区 王子
幹事長	水野 浩治	北区 十条台
常任幹事	平野 喜和	北区 西が丘
々	片山 郁夫	北区 赤羽台
々	小宮山 庄一	北区 堀船
會計幹事	梶村 政博	北区 赤羽西
々	横田 美代子	北区 豊島
監事	林 靖昭	北区 滝野川
々	大塚 浩二	北区 田端
幹事	荻原 秀夫	北区 岸町
々	加藤 雄三	北区 田端新町
々	古田 しのぶ	北区 東十条
々	高橋 雄太	北区 岩淵町
々	戸枝 大幸	北区 田端
々	音喜多 駿	北区 上十条
々	佐野 彰一	北区 神谷
々	金沢 幸彦	北区 田端
々	江中 桃子	北区 滝野川
々	石井 洋介	横浜市 鶴見区
々	伊藤 蔵人	北区 西ヶ原
々	木下 未来里	北区 岸町
相談役	北 雷次	北区 志茂
々	浅井 碩信	北区 滝野川

和歌

小山高龍

桜狩り人集いたり暖かく

ほんぼりついて酒の香ながる

雀の子街の木づえに春あそぶ

カラスはいない今鳴きわたむ

六月は水無月というふしぎなり

雨はつづきて体調不良

雨の日はラジカセききて歌謡曲

時代は流れ昭和はさりぬ

年賀状元日に着くでも不思議

このしきたりは日本のみかも

日のながき一風呂あびて一首あり

早めの夕食体調はよし

天変地異杞憂とばかりいいえずに

この地球にはあつきマグマが

現代詩

小山高龍

「東アジア」

儒教文化の倫理感

共通文字の漢字もつ

日中韓連携し

西太平洋近接す

三国間に及びたる

金融不安に対応す

地縁はむすぶ歴史の

流れはありてとうとうと

民族間によこたわる

わだかまりとかあるにせよ

相互経済の安定化

文化交流着々と

恒久平和望むとこ

三国相互往来は

益のあること明白で

欧州とまた異なりて

アジアの歴史おだやかで

東洋の君子競いたり

仏教のもつ理念とは

軍拡競争つづいても

この三国の平和こそ

アジア安定いしえずに

漢詩

小山高龍

題桂花

氣徹高天碧 氣徹リ高天碧ク

桂花冷艶開 桂花冷艶トシテ開ク

最宜香馥馥 最宜宜^ヨシ香馥馥トシテ

魁節訪盧来 節二魁^ケケ盧^ロヲ訪ヒテ来ル

徹……………清く透き通る。

桂花……………きんもくせい。

冷艶……………清楚で気高い美しさ。

最宜……………最も好ましいことは。

馥馥……………香り高いさま。

節……………季節。

《大意》

青く晴れわたった空に

清楚で気高く美しいきんもくせい。

最も好ましいことは香りが季節の

おとずれを感じさせる



荒川土手の北区の花「サクラソウ」

俳句

浅井碩信

玄菱 空へまっすぐ ビル谷間

検査終え 東京タワーに 積乱雲

餌探す 鳩もよたよた 酷暑かな

木の実落つ 静寂の中 ただ一人

行く秋や 雨にけぶれる 古刹かな

川柳

守屋 章

胃カメラの結果 お前は腹黒い

骨がなる 今年七十で コキコキと

源内に 煽られ今年も うなぎ食う

メール来る 初恋の人から 久々に

甲子園 来夏は響け コンバット

渋沢栄一と十勝・清水町

北海道十勝平野の北西に位置する清水町は、その発祥において、渋沢栄一が大きく関わっている。

さて、まずは明治維新より遡ること二十八年、天保十一年に生まれた三人の男について紹介しなくてはならない。

一人は薩摩出身の黒田清隆。

黒田は明治初頭、開拓団長官として北海道開発のトップとなる。西郷・大久保亡き後、薩摩閥を率いるとともに、独特な政治力で第二代内閣総理大臣にまで登り詰めた。

もう一人は岩村通俊。

武市半平太の土佐勤王党出身の岩村は、明治四年、黒田長官のもと開拓団次官として札幌の都市開発などに辣腕を振るつた。しかし黒田とのソリが合わず、道半ばの思いを残しながら配転の憂き目を見る。その後明治十年、西南戦争時の鹿児島県令をつとめ、薩摩人に寄り添う戦後処理を行ったことから、黒田の故郷、鹿児島の人々からも尊崇された。

そして最後の一人は、もちろん渋沢栄一である。

明治十九年、自らが設置を建言していた北海道庁長官に就いた岩村は、内外に開発の方針を示すとともに、渋沢ほか財界人を招き、協力を要請する。渋沢はこれを快諾し、すぐさま銀行関係者に「北海道に農産



会社設立が肝要」と説いた。

さらにその年の十一月、渋沢は王子飛鳥山における園遊会で、政財界の要人を前にして、経済学者たちに研究させた成果を踏まえ、日本の農業の未来に向けて、米国型の大規模農業の必要性を語ったと伝えられる。

そこからわずか二年後の明治二十一年、岩村は黒田総理によって、ふたたび北海道開拓の現場から外されることになるのだが、明治三十一年、渋沢たち財界の出資により、十勝開墾合資会社が設立され、四二七〇haの森林原野の農業開発がスタートする。

明治期にいち早く、日本の外交安保、農業経済の見地から北海道の底知れぬ可能性を見た、同い年の三人の男の不思議な縁がなければ、清水町は生まれていないであろう。

令和五年、私たちの街・北区と清水町は、持続可能な社会の実現に向けて、観光、環境などの面で協力関係をスタートさせた。両者にとって地域の誇りである「渋沢栄一」がそれを繋いだことは言うまでもない。

(越野充博)

若かりし、あの日、あの時…

六五年前(一九五七)一九六二、学生時代と社会の出来事。三種の神器と高度成長の幕明け、初期の学生運動、安保改定騒乱、ECC発足とアフリカの独立。

一九五七年、第一商学部入学。一月、南極昭和基地建設。二月、石橋湛山内閣が総理病気のため総辞職、そして岸信介内閣誕生。九月、大阪で中内功のダイエー開業。十月、インドのネール首相が大隈講堂で講演。百円硬貨発行。

一九五八年一月、欧州経済共同体(ECC



浅沼稻次郎社会党委員長

C)発足。長島茂雄が巨人に入団。この年、打点、ホームラン王の二冠。パ・西鉄、神様、仏様、稲尾様。四月、売春禁止法実施。早稲田祭で、新築の記念会堂に於いてN響が第九を公演。十二月、東京タワー完成。十一月、正田美智子さん皇太子妃に内定。

一九五九年、メートル法施行。四月十日、皇太子、美智子妃結婚の儀、六頭立ての馬車でパレード。フジ、毎日放送開局。東京オリンピック開催決定。この時期、週刊新潮はじめ週刊誌が続々と刊行。水俣病の原因を熊本大学医学部が新日本窒素の排水と突き止めた。この頃から、早大キャンパス内の掲示板に、左翼のアジビラが多く見られるようになる。当時、ラーメン一杯三十円。一九六〇年、一九五八年後半から、神武景気を上回る岩戸景気、高度経済成長が始まる。

アフリカでは、ガーナははじめ十七ヶ国が独立。五月一日、「日米安全保障条約」を単独採決。五月十九日、全学連を主力とした三十万人の大規模デモがあり、樺美智子さんが圧死。七月一日、岸内閣が総辞職して池田内閣発足。十月十二日、早稲田の先輩浅沼稻次郎社会党委員長が日比谷公会堂で暗殺。十一月、歴史に残る早慶六連戦で早稲田が優勝。大学まで戦勝パレード。十月一日は就職活動解禁日。当時の初任給は一万五千円〜二万円。求人も第一学部に限られる。十一月、アメリカでケネディ大統領

誕生。十一月十九日、富士山で雪崩が発生、早稲田の五名も遭難死。当時の北区は人口約四十万人、旧陸軍の施設跡に公園住宅が建ち始めていた。また、公害と高度成長と戦前からの工場の移転に伴い、一九七五年頃から豊島五丁目団地(日産化学跡)や王子五丁目団地(十條製紙跡)が出来て、町の様子が変化して行った。環七は一九六五年、新神谷橋開通で全線が繋がった。(佐野彰二)

へぼ添乗員

失敗から学ぶ「旅のつぼ」

―名門老舗ホテルの廊下を激走―

このツアーは欧州各市を訪ねて回る大型視察団で、添乗員はベテランチーフ、担当の私と二年下の若手社員の三名が同行した。ロンドンでは、St. Ermin's Hotel(セントアーミンズホテル)に投宿した。ピクトリア様式で馬蹄形の邸宅を改装した名門老舗ホテルである。

このホテルに到着してお客様の夕食時、若手添乗員二名がポーターと一緒にスーツケースを各部屋に届けた。夕食後、お客様は部屋に入って、添乗員は部屋回りをした。あるお客様から部屋の不具合の申し出があった。ホテルに交渉したが、生憎と同等の部屋が無く、チーフと相談して、我々若手二名が入る予定の部屋をご利用いただくことにした。若手の部屋はだいぶ経ってからホテルの奥に用意された。騒動も収まり部屋でホッとしてくつろいで熟睡。

翌朝、事件が起きた。「お前ら、何してるんだ!置いて行くぞ!」チーフの怒鳴るモーニングコールで叩き起こされた。朝早い出発だったので、「一律のWake-Up Call(モーニングコール)を設定したが、添乗員の部屋はRooming List(部屋リスト)に無か

つた。そう
だ。部屋を
変えていた
のだ。

チーフに
叩き起こさ
れた後は、
人生で一番
素早い身仕
度だった。

ただし、猛
烈に焦って、
先ず目の前
の靴を履い



た。それからズボンだった。スーツケースをポーターに頼む余裕はなかった。引きずりながら廊下を激走した。ホテル内を走るのはご法度なことは百も承知だが、そんな事は言っていられなかった。悪い事に、この名門ホテルの廊下はいくつもの扉で仕切られており、荷物を持ち、ショルダーバッグを肩から提げて、奥の部屋から玄関まで走るのには往生した。

若手添乗員が血相を変えて荷物を引きずり、走ってロビーに現れれば、お客様は何か起きたか察しが付くが、優しいお客様からお咎めは無かった。予定通り出発は出来たのだ。

この騒動は、何が問題か？根本の問題は他力本願であろう。Wake-Up Callと言う電話交換手に頼るのがいけない。これを教訓に目覚まし時計を携帯するようになった。しかも二つ。添乗員なら常識だが……、当時はスマホもない時代であった。

今回の旅の教訓は次の二つ。
・ Do not lean on others! (他人によりかかるな！)
・ ホテル内は走ってはいけない。
(片山郁夫)

つまらない話

会報に寄せるエッセイや紀行文等の投稿を依頼されたが、文才のない私には到底無理な話なので、どうでもよい私の個人情報にまつわる超ローカルな情報をお届けする。読まなくても済むように、タイトルを「つまらない話」にした。

さて、私がかつて勤務していた、現社名「三菱ロジスネクスト」は、あまりに地味すぎて誰も知らないが、元々は京都の精密機械メーカー島津製作所から分離した会社が三菱重工のある事業部と合併し、その後複数の企業を吸収してできた会社で、三菱重工を重厚長大とすれば、軽薄短小とはいわれないが若干軽め？の機器を製造している。

本社は京都郊外の長岡京市にある。はるか昔、桓武天皇が平城京から平安京に遷都するまでの間、この地に十年間だけ都がおかれた事を知る人は少ない。地域一帯が遺跡の宝庫で、当社も工場等の建て替えの度に発掘調査が入り、調査の間は工事もストップ、何かお宝が出てもらえぬ訳でもなく、調査費用もこち持ちという理不尽な制度に愚痴もでようというものだ。

ここには都の跡だけでなく、当社のすぐ近くに勝竜寺城という城跡もある。後に熊本藩主となった細川氏の居城で、本能寺の変で織田信長を滅ぼした後、山崎の合戦で秀吉に敗れた明智光秀が、当時在城していたという細川幽斉、息子忠興、その夫人ガラシャ(光秀の娘)に一時匿われ、後密かに城を出て領地に戻ろうとして土民に襲われたという。

城跡は立派に整備され、当社から城跡に続く道は今「ガラシャ通り」と名付けられ、毎年十一月に「ガラシャ祭り」なる催しが

盛大に開かれている。
とりとめのない記述で、何をいいたいのかわからなくなったので、この辺で書き逃げすることにした。
(林 靖昭)

ある日、ある時、 何かが起きる…

行方昭夫先生(一九三二〜)、東大名誉教授・英国作家サマーセット・モーム研究の第一人者の知遇を得てから、かなりの年数が経過している。先生は私が尊敬してやまない碩学にしてGURU(大御所)である。ある日ある時、学術団体日英言語文化学会の会合で、いつものモーム談義に花が咲いた。「石川先生、あなたは面白い。モームに似て遠慮なしに何でも言う。皮肉も諧謔も意地悪なところも、ウィットもユーモアなど何でもありだから、石川流「The Summing Up」(モームの名随筆集)を書かれたらどうか」と過分なお言葉を頂戴した私は己の分際をも顧みず、その気になってしまった。

時が経ち、二〇一一年六月四日に行方先生から新刊のご著書「サマーセット・モームを読む」(岩波書店)をいただいた。その本の表紙裏に「石川英夫先生、「The Summing Up」の完成を待っています」と先生直筆の文字が踊っているではないか。因みに原書は今、行方昭夫訳で岩波文庫「サミング・アップ」、十三版を重ねている。

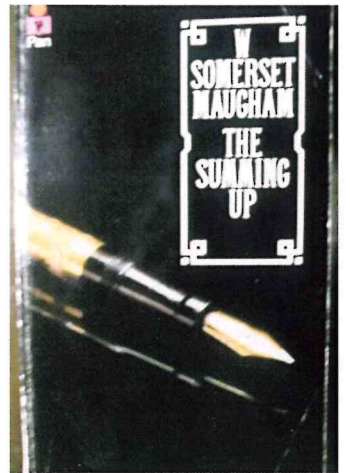
私はモームが大好きだ。例えば「I have always wondered at the passion many people have to meet the celebrated. The prestige you acquire by being able to tell your friends that you know famous men proves only that you are yourself of small account.」(行方訳：多数の人たちが有名人に是非会いたいと切望しているのを私は

常々不思議に思っている。自分の友人たちに有名人を知っていると云えることで得られる名声など、とりもなおさず、自分自身は無名であることの証明に他ならないではないか。)

では、私の「The Summing Up」について記そう。気がついたり、時間があつたり、不敵にも世直しを画策したりして、メモ書き続け、私はこれを「石川流箴言集」と名付けた。そこには、こんな記述もある。

「良質なコミュニケーションの資格要件について考えることがある。その一つに、『人間の面相』がある。面相が言わず語らず、コミュニケーションの役割を果たすのである。いくら高級なオーディオコロンを振りかけても、いくら高価なネクタイをしてみても、面相は変わらない。面相は化粧品メーカーやバーバリーのファクション、紳士服のアルマーニやグッチのアクセサリーが創るものでもない。」

さて、私の「石川流「The Summing Up」は今やA4・五十枚、四万三千字、百五十項目にまで膨らんだ。現在も進行中で、これはついに私のライフワークになってしまった。
トシを取って、徒然に考え事をしていて、何かしら発見する。そして、温故知新の四文字に釣られて遊ぶ。これまた楽しからずや。
(石川英夫)



北区と私と早稲田

今年七月、北稲門会に入会させていただき、ありがとうございます。

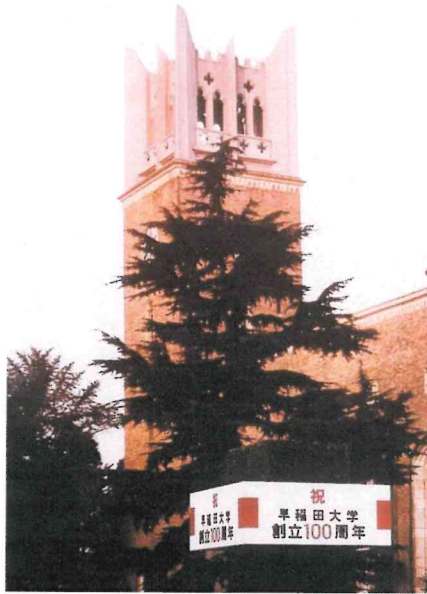
まず、北区との馴れ染めを紐解きます。私は北区滝野川生まれで、一才半まで住みました。父の仕事の関係で、引っ越しが多く、幼稚園三園、小学校四校に通い、その後は都内の中高一貫校に進み、横浜に移り住みました。転校生の私には、滝野川の思い出が宝物でした。父方の祖父母叔母の一家が住み、従兄たちと共に過ごす、お正月、お盆、お祭りの神楽、おでんとお赤飯が楽しかったです。飛鳥山公園のお花見も、よく覚えています。今後は秋の北区区民まつりに参加し、飛鳥山公園を満喫します。

次に、早稲田との繋がり、一九八三年に教育学部社会科学専修卒また一九九七年社会科学修士を修了しました。大学では一年は、なべの会、二年から卓球同好会と笛法会で活動しました。四年の秋が大学創立百周年で、写真の風景が印象的でした。大学院では、仕事と両立し医療福祉経済学を学び、ホームヘルパー資格を取得、製菓会社の業務と母の介護に役立てました。

ここ二十年はキャリアの仕事に携わり大学やハローワーク等で学生社会人の就活を支援しています。今年三月までの十年間は母校のキャリアセンターでも相談業務を担当しました。

昨年暮れより、稲門記念品運営委員の活動に夢中です。校友会、稲門会の諸先輩方、後輩諸氏と協働し、稲門祭を作り上げるべく知恵を絞り、卒後四十年で初めて知ることばかりで新鮮です。

最近の私。趣味はスポーツ観戦で、大学ラグビー早明戦以降早稲田が勝ち進めば、同級生とできる限り現地観戦を敢行、応援します。陸上競技、フイギュアスケート、サッカー、野球も観ます。また、歌舞伎は演劇等の鑑賞も続けています。主人と二人暮らして、万歩計を強制的に付けさせられ(笑)、一日八千歩が今の目標です。こんな私ですが、北稲門会の活動が心からの楽しみです。どうぞ、よろしくお願いします。(斉藤朋美)



平和が一番、家族が一番、健康が一番

物価値上がりで燃料費高騰で日本沈没、我が家も沈没。団塊の世代ですから、高度成長期で金持ちだったのが、今は非課税所帯。昔、池田勇人という岸田さんと同じ宏池派の首相が「貧乏人は麦を食え」と言っていたのを覚えました。東京都からお米が配布されたので食べてみたのですが、備蓄米だったのでふっくらせずでした。

政治の一番の目標は、経済の安定だと思っています。「衣食足りて礼節を知る」企業は

信用第一」。迷惑電話がいつぱい架かってきます。「東洋経済」を時々読んでいます。文学部出身の石橋湛山氏の創業なんですね。世界は未だに騒がしいですが、日本は戦後、問題は山積していますが、平和なのが一番です。

今は情報の時代ですが、私の若い頃は個人情報なんてことは、ちっとも問題になりませんでした。(ただ知らなかっただけなのかもしれません)年を取ると、やっぱり家族・健康が一番だと思ふ今日この頃です。そして、美しいものを見て感動する心は失いたくないと思います。北稲門会設立三十周年、まことにおめでとうございます。(横田美代子)

蓼科での偶然

北稲門会会員の皆さまには、日頃より、大変お世話になっております。また、このコロナ禍の間、区役所でコロナ対応を担当していたこともあり、当会の活動にほとんど参加できず、心苦しく思っておりましたが、今年五月に担当を外れたこともあり、先日の総会にも出席させていただくことができました。今後も可能な限り出席したいと思っておりますので、引き続き、よろしくお願いたします。

さて、この夏、数年振りに家族で旅行をする事ができたのですが、たまたま宿泊した蓼科の「リゾートホテル蓼科」で思いがけない偶然がありました。

それは、同ホテルが運営する「彫刻公園」に、北村西望先生の彫刻が展示されていたことです。先生は、皆さまご存じの通り北区名譽区民第一号であり、北とびあ前には先生の代表作ともいえる平和祈念像が設置

されていることでも有名ですが、当公園に展示されている六十六点の彫刻の内の実に半数近くが、先生の彫刻だったのでした。私は、区役所で文化行政にも携わったことがありますが、ここに先生の作品が展示されていることも知りませんでしたし、これほどの北村作品を目の当たりにしたことはありませんでした。平和祈念像はありますが、自像(胸像)まであり、芸術には造詣はない私から見ても、どれも迫力に満ちており、先生の作品独特の風格が漂っているように感じました。

何の気なしに宿泊したホテルで、ふらつと立ち寄った公園での偶然に非常に驚きましたので、皆さまに紹介させていただくこととした次第です。

ちなみに、同ホテル宿泊者は無料で入園できますので、一度、ご覧になってみてはいかがでしょうか？ (小宮山庄一)



北稲門会三十周年に寄せて

お祝いのご挨拶



早稲田大学総長
早稲田大学校友会会長
田中 愛治

北稲門会の皆様、こんにちは。このたびは北稲門会設立三十周年を迎えられたとの事、心よりお慶び申し上げます。また、日頃から田内会長を中心に会員の皆様が一丸となって多彩な校友会活動を展開され、早稲田大学および早稲田大学校友会の発展にご尽力いただいておりますこと、誠に有難く、早稲田大学および校友会を代表して心からの敬意と感謝の意を表します。

私、田中愛治が総長に就任してから、早いものでもうすぐ丸五年を迎えようとしています。創立百五十周年は二〇三二年ですが、その先を視野に入れた早稲田大学の長期的な改革ステージである「Waseda Vision 150 and Beyond」においても着実に歩みを進めてまいりたいと考えております。早稲田大学を二〇四〇年には日本で最も学ぶ価値のある大学にすること、二〇五〇年にはアジアで最も進学したいと思われる大学にするという夢に向かって進む覚悟です。

田中愛治

皆様方の早稲田大学に対する熱い母校愛に感謝し、北稲門会の益々のご発展と皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。私からのお祝いのご挨拶とさせていただきます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ご挨拶



前北稲門会会長
北 雷次

今から七十年前、待望の早稲田大学に入学を果たした私は、一週間程、毎朝早稲田に通い、大隈講堂の前に座り込んでこれからどう過ごすべきかを真剣に考えたのでした。そこで、いくつかの項目の中で次の二つが大きな目標となりました。

- 一、早稲田大学という大暖簾に飲みこまれなように。
- 二、世に言う早稲田マンとして恥じない人となること。

今となって振り返れば、この目標とは程遠い人生であり汗顔の至りであります。

私は定年を迎え、現役を引退した頃、北稲門会に入会しました。そこで多くの立派な先輩や後輩にお会いして貴重な触れ合いを持つことができました。それぞれ早稲田マンとして素敵な方々であり、そのお人柄については既に皆様もご承知のことと思えますので省きますが、私にとつてはいぶし銀の様な方々ばかりでありました。皆と肩を組んで歌った校歌や応援歌は、わが青春時代を呼び覚まし、直ちに懐かしい早稲田の杜キャンパスに連れて行ってくれるものです。我々の心のオアシスとしての北稲門会は大学と共に永遠であり、貴重な存在として北区の早稲田マンに守られ育てられねばなりません。

めでたく三十年の歴史を乗り越え、次に羽ばたく北稲門会が今後益々発展されることを心から祈念いたします。

北稲門会について

北稲門会は早稲田で学び、誇りとしている卒業生が地域の中で世代を超えて集まり、親睦・絆を深める目的で、一九九四年四月に設立されました。そして、設立総会は北区出身の第十三代早稲田大総長・小山宙丸先生をお迎えして、一〇〇余名の参加者が集い、リーガロイヤルホテル早稲田(当時)で盛大に行われました。

また、小淵恵三氏(元総理大臣)には、総会に度々ご出席賜り、北稲門会の草創期から会の発展にご尽力をいただきました。

現在の会員数は二〇〇名で、田内会長と水野幹事長を中心に活動し、早稲田大学校友会を支援、地域に貢献する目的で毎年十月に行われる「ふるさと北区区民まつり」には、慶応大学、明治大学、立教大学、学習院大学、法政大学、早稲田大学が、それぞれ特色を生かして参加しています。

更に、趣味の同好会(囲碁、ゴルフ、グルメ、遊歩、カラオケ、ワイン等)を開催し、会員の交流を図っています。

北稲門会設立総会



小山宙丸第13代総長のご挨拶



左より飯野元会長、小淵元総理大臣、小山元総長、名取初代会長

北稲門会のあゆみ

- 一九九四年四月
リーガロイヤルホテル早稲田(当時)にて、北区出身第十三代総長 小山西丸先生をお招きし、一一〇余名参加で盛大な設立総会開催 初代会長 名取小一氏就任
- 一九九五年一月
北稲門会会報 創刊
題字 小山西丸総長揮毫
- 一九九六年
ゴルフ部会発足
- 一九九八年
総理大臣 小淵恵三氏顧問就任
第二代会長 横峯忠氏就任
- 二〇〇一年
第三代会長 飯野嘉一郎氏就任
グルメ部会 メトロポリタンバイキング
- 二〇〇二年
飯野会長 当年度二十三区連合会会長
第一回オール早稲田囲碁祭
- 二〇〇三年
飯野会長 「瑞宝双光章」受賞
- 二〇〇四年
設立十周年記念総会 北とびあにて開催
北区区民まつりに北区三田会と共に初参加
早稲田大学漫画研究会似顔絵コーナー好評
- 二〇〇七年
早稲田大学創立百二十五周年
- 二〇一二年
米空軍横田基地見学と福生ビール小屋訪問
- 二〇一三年
設立二十周年記念総会を北とびあにて開催
東京稲門グリーンクラブ 二〇名出演
- 二〇一四年
ワイン部会発足
- 二〇一五年
第四代会長 北 雷次氏就任
遊歩の会発足
- 二〇一六年
会報カラー化
- 二〇一八年
新潟市稲門会との交流開始
- 二〇一九年
味の素トレニングセンター見学
(東京オリンピック前の最終見学会)
- 二〇二〇年
第五代会長 田内秀昭氏就任
- 二〇二一年
近藤副会長 東京オリンピックの兵庫県聖火ランナーとして参加
旧古河庭園の洋館での懇親会実施
- 二〇二三年
若手会員の活動活性化スタート
三十周年記念旅行・大曲花火大会見学
秋田稲門会との交流

北稲門会設立前後の秘話

北稲門会は、東京二十三区の稲門会中十三番目の会として一九九四年四月一日に設立しました。活躍された方は当会第二代会長の故横峯忠さまでした。

一九九六年五月十七日、現在の東京二十三区支部の前身である東京二十三区稲門会連合(以下「稲門会連合」という)の結成大会が、リーガロイヤル早稲田(当時)で開催された(十七稲門会参加)。

しかし、総会は開催されたものの、規約も未作成で連合会長の選任方法も定まっていないういう正に泥縄方式で立ち上がったものであった。そこで、東京二十三区全部に稲門会を作るという大命題とともに、規約作成は稲門会連合の焦眉の課題であった。

一九九七年六月三十日、第二回稲門会連合大会が十七稲門会参加の下に開催され、同年八月四日、八稲門会(浅草、北、江東、渋谷、世田谷、練馬、豊島、文京)の代表者が熱海の早稲田大学・双柿舎に集まり、次期会長会(幹事会)を豊島稲門会とすること、規約制定・会長ブロック制への移行等が協議された。

このような最中、北稲門会の会員となった私は、いきなり幹事に選出され、稲門会連合の規約作りを巻き込まれることになった。

幹事会の豊島稲門会は、三木氏・野崎氏が中心となり、組織改革準備委員会が立ち上がり、一九九八年一月二十二日、幹事会が開催された。私は横峯会長の命を受け、会長から手伝ってくれと言われ、何もわからないままこの委員会活動に入り込むことになった。

同年、当会を含めた十四稲門会の幹事長から構成された会議で連合組織のあり方の検討が始まり、私は規約制定の取り纏め役にされた。当時、基約制定の分科会は二〜三週間おき

に開催されたが、二歩進んだと思ったら一歩下るといような有様で、会議ごとにその時の合意内容を確認していたにもかかわらず、その会議に欠席した委員が次回の会議で平然と異論を唱え、挙げ句は前回の合意内容を平気でひっくり返すというとんでもない会議で開催するたびに忍耐強く趣旨説明を繰り返さなければならず無駄な時間ばかりが徒に過ぎ、今までに司法書士会の会議進行を見てきた者としてはとても信じられない会議体であった。とても付いて行けず、横峯会長に辞職を申し出たことも何度かありましたが、その都度飲みで連れられて行かれ、懐柔されて結局最後まで頑張る羽目になった。

巷間、私は稲門会連合の規約を作った男と言われたりしておりますが、横峯会長の強力な(というより有無を言わさない)後押しが無ければ、とつくに規約制定を諦めていたはずで、稲門会連合規約が制定できたのは正に横峯会長のおかげだと言っても過言ではありません。

私が横峯会長時代に校友会活動に参画・活動した様子を校友会責任者として見守って来られた口元周策事務局長(当時)には第七代会長会(幹事会)を北稲門会とする事に理解を示され、全面的に協力していただいた。もとより、私の念頭には第七代会長としての横峯会長があり、内定した時には快哉を叫んだものであった。

残念ながら横峯会長が急死されたことから、北稲門会会長を引き継いだ故飯野嘉一郎様が二〇〇一年四月一日第七代会長として就任されたことはご承知と存じますが、この様な経緯を殆どの方がご存じないと思われる。

当会の三十周年記念を迎えるに当たり、横峯忠様のエネルギーをお姿を偲びながら本稿を閉じたい。

最近の定時講演会から

二〇二三年十一月十一日(金)、北区王子「北とぴあ」で近隣稲門会からのご出席もあり、参加者約五十名で開催。母校国際学院国際教養学部飯野公一教授から「多様な社会、多様なことば」と題して、今日の早稲田大学を念頭に「社会の変化、高等教育のグローバル化、使用言語の変化、AI技術の進化」など、世界の共通言語(Inga Franca)として英語の有用性についても極めて啓発的な講演をいただいた。例えば、英語について、これまでの学習者(learners)のための英語から実際に現実的な有効活用に至る利用者(users)のための英語に変化している事、早稲田における留学状況等をスライド四十枚のパワーポイントプレゼンテーションで実に分かり易くご説明いただいた。ご講演後のQ&Aも活発で二時間があつという間に過ぎた。飯野教授は、このご講演で「多様な英語、多様な日本語、多様な言語との共生」、「習うより慣れる」しなやかな感性と知性」そして、学の独立が学の孤立にならないようにとご提言で「まとめ」とされた。

今年十一月で第三十回を迎えた定時講演会史については下段をご参照ください。(石川英夫)



瀬古利彦氏のジェスチャたっぷりの熱弁、熱演の講演会



小宮山悟早大野球部監督登壇

講演会終了後、高田宣美中野稲門会会長を囲んでの集合写真

1995年7月スタート

これまでに北稲門会講演会にご出席いただいた講師の方々

第1回	小山宙丸先生	第13代総長	哲学論
第2回	西川 潤先生	政治経済学部	世界経済と日本経済
第3回	永田勝也先生	理工学部	これからの自動車・ソーラーカー
第4回	松田修一先生	生産研究所	21世紀をリードする企業と起業家像
第5回	間 宏先生	文学部	経済大国を作り上げた思想
第6回	川村淳夫先生	アジア太平洋研究科	21世紀の国際社会と日本の課題
第7回	兼近輝雄先生	政治経済学部	私と日本政治史
第8回	森田 実先生	政治評論家	日本の政治はどう変わるか
第9回	岩村 充先生	アジア太平洋研究科	日本の金融に未来はあるのか
第10回	小林英夫先生	アジア太平洋研究科	21世紀日本企業はいかに生くべきか
第11回	西田善夫先生	元NHKアナウンサー	選手をやる気にさせる話術
第12回	石井 浩先生	渋沢資料館副館長	大隈重信と渋沢栄一
第13回	北川正恭先生	公共経営研究科	地域の自立とマニフェスト
第14回	飯野公一先生	国際教養学部	外国から見た日本の諸情勢
第15回	広岡達朗先生	野球評論家	有能な指導者が付けば必ず人は育つ
第16回	瀬古利彦先生	日本陸上競技連盟理事	心で走る
第17回	佐沢利和先生	日本記者クラブ会員	選挙を占い併せて歴代総理の虚像と実像を語る
第18回	荒 和雄先生	経済評論家	よい世襲、悪い世襲
第19回	松瀬 学先生	ノンフィクションライター	早稲田スポーツと早稲田魂
第20回	大石久和先生	公共経営研究科	国土学の見地から民族の経験 国土の条件・競争力
第21回	井口民樹先生	ノンフィクション作家	早稲田野球の父・安部磯雄とその子孫との出逢い
第22回	島崎元志先生	中国での日本語教師	中国見たまま、聞いたまま中国での教師歴12年
第23回	猪谷千春先生	国際実業家 五輪メダリスト	スポーツと私
第24回	金 美齡先生	台湾出身の評論家	日本人の誇り
第25回	佐々涼子先生	ノンフィクション作家	人知れず社会を支える肖像を描いて
第26回	嶋飼信一先生	商学大学院	きらりと光る町工場が地域を元気にする
第27回	小宮山悟先生	早稲田大学野球部監督	野球を通して学んだことと早大野球への提言
第28回	相楽 豊先生	早稲田大学競走部 駅伝監督	早稲田大学駅伝部と指導
第29回	飯野公一先生	国際教養学部	多様な社会、多様なことば「学の独立」と言語政策
第30回	葛西順一先生	スポーツ科学部	私と早稲田大学

「フェニクス」活動。 「ふるさと北区区民まつり」

人気上昇の「似顔絵コーナー」で 祭りの盛り上げに貢献

北区に校友会支部を有する慶応、明治、立教、学習院、法政、早稲田等六校が毎年秋、一堂に会し、テントを張り(通称・大学テント村)、それぞれに趣向を凝らした演しもので「ふるさと北区区民まつり」の盛り上げに貢献してきました。

このイベントはコロナで中断されましたが、今年は復活です。北稲門会は例年早稲田大学漫画研究会の支援を受けて似顔絵コーナーを開店、ペットまでが似顔対象、年を追うごとに人気は高まるばかりで千客万来。

今や、飛鳥山公園「区民まつり」の話題のアトラクションとなっています。(石川英夫)



グルメ部会

「グルメ部会」は、北稲門会設立後、約十五年が経過した二〇〇八年頃、志水副会長の熱心な働きかけによりスタート。当時幹事長となった私が部会長の指名を受け、以後、年に数回開催。第一回は、池袋の明治製菓系列居酒屋で会食。副会長等当会役員中心のグルメ会となった。その後、登録メンバーも増え、二〇一九年には、グルメ会の登録者は二十六名となった。現在はコロナ関係で休会状態だが、当北稲門会の重要な部会として、再開を待ち望んでいる。

尚、最近十数年間は、主に日本の伝統食文化を探索。日本料理では、上野「韻松亭」、浅草「ちんや」、神楽坂「鳥茶屋」、亀戸大根のあさり鍋「亀戸升本」、根津串焼「はん亭」を、また恵比寿の和食店では京都の孟宗竹コースを味わった。海外料理では、ポルトガル料理店「マニユエル・カーサ・デ・フアド」、インド料理最古店の銀座「ナイルレストラン」、加藤登紀子経営のロシア料理店「新宿スングラー」を訪問。尚、特別企画として、二〇一二年、現石川副会長が主催し、米空軍横田基地見学、軍隊のコンサートで歓迎を受けた。帰途、最寄りの「福生ビル小屋」でみんなが酔った。

(浅井碩信)



グルメ部会：上野公園内「韻松亭」



遊歩の会：米空軍太平洋軍楽隊のミニコンサートのおもてなし
米空軍横田基地にて



遊歩の会：日本橋を起点として運河巡りに出発



ワイン部会：試飲会会場風景



ゴルフ部会：最盛期のメンバーたち

会員の健康と趣味と会員相互の親睦も兼ねてスタートしたのがこの歩く会である。当初は小人数で都内の名勝巡りで始まったが、次第に行き先は近場からやや遠くなり、参加人数も増えてきた。ここに遊歩実績を記すが、ずいぶん歩いたものである。女性や若い人たちも加わり、毎回十名〜二十名の参加者があり、楽しみの内容も豊かになってきた折のコロナ異変で、この人気行事は一旦休止に追い込まれて、いつの日かの再開を今渴望している。(石川英夫)

遊歩の会

- 遊歩記録 (二〇一五年〜二〇一九年)
- 第一回 北区・王子界限
 - 第二回 谷中七福神巡り
 - 第三回 足立農業公園荒川土手の観桜
 - 第四回 運河巡り(日本橋起点)
 - 第五回 深川・清澄庭園界限
 - 第六回 三鷹天文台・深大寺
 - 第七回 京成佐倉・観桜
 - 第八回 都内美術館(根津美術館など)巡り
 - 第九回 大磯吉田茂邸他
 - 第十回 北区・王子、豊島界限
 - 第十一回 世田谷等々力溪谷、上野毛界限。
 - 第十二回 赤坂離宮迎賓館見学他
 - 第十三回 JOC味の素トレーニンゲセンター
 - 第十四回 亀戸など下町巡り
 - 第十五回 コロナで休止、今日に至る



JR赤羽駅前のカラオケ「Big Echo」に毎月一度木曜日夕方、のど自慢・歌自慢の会員有志が六〜八名、二時間、お得意の歌を気分よく歌ってきました。戦前戦後の流行歌、最近の新曲、唱歌、童謡、股旅、民謡、応援歌、外国語の歌、何でもありです。開催回数を増やそうと話し合っていた時にコロナが蔓延、爾来、コロナ禍に妨げられて休会中です。しかし、歌好きは再開を渴望しています。歌は百薬の長です。健康を保持させる秘訣です。皆さま、是非ご参加ください。お待ちしております。(石川英夫)

カラオケ部会



幹郎会員。かつての三菱商事・ニューヨーク駐在。現地ではワインの買い付けを担当、ワインの知識は超豊富。彼の巧みな、しかもためになるレクチャーを聴きながらの和洋の有名銘柄のワインの試飲会はいつも大盛況。参加者は皆、存分に啓発され、そして楽しめました。残念ながら、この会もコロナ禍に勝てず休会の止む無きに至り、再開のあても無く、只今休会中。再開を有志が模索中です。(石川英夫)



多くの会員の強い要請があり、会をリードする余人を以って替え難い人物に恵まれてスタートしました。リーダーは柿原

ゴルフ部会



喜和会員の協力を得て、再開いたしました。二〇一九年秋には再度の休会を余儀なくされました。また、二〇二〇年からはコロナ禍の影響で全ての活動の自粛化が進みましたが、このところ、ゴルフ場も多くが沢山のゴルファーで賑わって参りましたので、いよいよ若手会員にゴルフ部会の再開を盛り上げていただきたいとお願ひしております。ご一緒にゴルフを楽しみましょう。(近藤 宏)

コロナ前の世の中が盛んな頃、北稲門会のゴルフ部会は一九九六年に横峯幹事長のお声がかかりで活動を開始しました。その時は、越野充博会員が事務局となり、近藤宏会員が部長としてゴルフ部会の例会を開催し北稲門会の活動の一端を担ってききました。当初は二年に一度、次いで一年に一度、二〇一〇年からは年に二度の開催となりました。しかしながら、二〇一六年には部会員の高齢化により休会。二〇一七年には平野

囲碁部会

北稲門会の囲碁部会は北稲門会設立者のおひとり志水一夫氏(現副会長)をはずしては語れません。志水氏の囲碁についての造詣の深さは人並み外れであり、挙げて参加したのです。囲碁が活発だった時期は二〇一〇年からコロナ禍の始まった二〇一八年までであり、それ以後は世の中の全てがそうであったように部活動は縮小し、潮が引くような有様になってしまいました。残念の極みであります。当時の部活の例会は毎週火・木の二回、月八回を滝野川区民会館で行いました。それに加え次のように鶴首して行事に随時参加しました。●都内稲門会囲碁部との定期対抗戦 ●他県とのオール早稲田、早慶定期戦 ●他大学との、NHK全国大会など

我々はこれらの行事に参加するために大忙しでした。会員はピーク時で十五名程でしたが例会後の反省会がとて楽しみでありました。また、対外試合後の合同懇親会も大いなる楽しみの一つでした。部活動の良さや楽しさは、この懇親会の交流に尽きると言っても過言ではないでしょう。今後囲碁の面白さ、奥行きに少しでも関心をもらえる会員の皆様には、是非入部され、ゴールデンライフを大いに楽しみ満喫していただきたいと思っております。(北 雷次)



新 入 会 員 勧 誘 の お 願 い

北稲門会の発展は会員の増強に掛かっています。早稲田大学出身で北区在住
または在勤の方のみならず他地域掛け持ちの方も大歓迎ですので、

お知り合いの方に対する北稲門会入会のお誘いを積極的にお願ひします。年会費は3千円です。

連絡先・越野建設(株)内 北稲門会事務局 電話:03(3913)4511 HP:http://www.kita-toumonkai.com/

新 会 員 紹 介

齊藤朋美さん
さいとうともみ

東京都北区出身 一九八四年教育学部卒

北区滝野川は私の故郷です。現在はキャリアアコンサルタントとして社会人、学生の就活の支援をしています。

大江賢造さん
おおえけんぞう

東京都出身 一九九九年理工学部卒

大学時代は、雄弁会に所属。

一九九九年、財務省勤務を経て、十年前から北区に居住しています。

松井克彦さん
まついかつひこ

岡山県出身 一九九〇年法学部卒

鈴木重勝民事訴訟法ゼミ。サークルは法律相談部に所属。現在、K I A トラスト(株)にアセットマネージャーとして勤務。不動産稲門会所属。剣道二段。

松井美智子さん
まついみちこ

東京都北区出身 一九九〇年法学部卒

内田勝一民法ゼミ。サークルは法律相談部に所属。

現在、入庫した中小企業金融公庫

(現日本政策金融公庫)で監査部長。

趣味は園芸、横笛演奏、仏像彫刻など。

坪川雅彦さん
つばかわまさひこ

東京都出身 一九八九年第一文学部卒

赤羽生まれ、十条育ち。志茂で生活。

サッカーを楽しむゴルフを趣味に、文化活動では落語好きの寄席通い。



早稲田大学坪内博士記念演劇博物館



早稲田大学国際文学館村上春樹ライブラリー



越野建設株式会社

代表取締役社長 越野 充博 (57年商)
北区王子4-22-9 TEL 03-3913-4511(代)

楽器対応賃貸国内シェアナンバーワン!



自宅で楽器演奏を満喫できる賃貸住宅

音楽マンション®

WEBはこちらから



(株)日本農林社

代表取締役 近藤 宏 (44年教)

北区滝野川6-6-5 TEL 03-3916-3341(代)



創業1923年 王冠・キャップ製造販売

株式会社 宝冠

代表取締役 野部 浩 (43年理工)
北区豊島1-39-8 TEL 03-3911-3986

TEIリーガル・オフィス

Legal Concierge 鄭 英 模 (46年政経)
司 法 書 士 マンション管理士
北区王子3-19-11-1002 エステ・スクエア王子
TEL 03-3927-8131(代) FAX 03-3927-8133
E-mail: teione3@ace.ocn.ne.jp

早稲田大学商議員

オール早稲田囲碁実行委員会世話人代表
早稲田大学校友会北稲門会副会長

志水 一夫 (36年商)

TEL/FAX 03-3268-6819
E-mail: shmz-k@s8.dion.ne.jp

鷹の羽運輸株式会社

代表取締役 高橋 雄太 (平成元年理工)

本社/北区岩淵町39-28 TEL 03-3902-2019